





会長  
平田耕司

## 母校の発展を願つて

同窓会各位におかれましては益々ご健勝で日々ご活躍のことと思ひます。私達の東京格致会はおかげをもちまして、順次充実してまいりました。これは日頃の当会に対する各位のご理解ご協力のおかげであり深く感謝するところです。

かねて期待していた組織体制も順調に整いつつあり、現在役員及び幹事三十四名中、三十一名は昭和三十年卒から昭和五十一年卒で構成しており、年度毎最低一名の幹事という体制の実現も近いことでしょう。そうした体制では発想も新鮮であつて、この程新しい親睦の会として「日帰り旅行の会」が発足。三月初めその第一回として伊豆修善寺方面バスツアーケを実施し参加者から大好評を得ました。この行事は年二回の開催を予定しておりますが、次回は来春が予定されており、多くの会員の参加が期待されています。

ところで昨年の総会時に当会の顧問をお願いしている田部幸雄氏（昭和十年卒）から、古い写真の提示とその説明を受けました。（下の写真）この写真は昭和十四年、東京周辺へ居住されていた旧制格致中学の卒業生が田坂周六校長ご来京時に参集された時の記念写真です。前列右端の田部幸雄氏は旧制盛岡高校農獸医科から陸軍獸医学校を経て中国、ビルマ、インド等へ従軍され、終戦前には師団司令部付きの陸軍獸医少佐というご経歴で



(昭和二十年卒)  
（昭和二十年卒）

私はこの写真で十三名の学生服の方々に注目しました。これらの方は旧制格致中学を卒業され、広島県の北端から向学心に燃えてはるばる東京の大学等で勉学されていました方々と思います。私はこのことから母校発行の「格致同窓会報」六号、七号にも掲載の「校祖小田源吉先生の生涯と教育」でも詳記されている「格物致知」が當時も旺盛であり、この精神は今後とも格致に学ぶ人たちは極めて大切であつて、理解し身につけることの必要を感じました。最近、公私を問わず学校創設者の創設精神を教科の中に入れて生徒学生の勉学に対する動機づけにしている学校が多いとききます。

私はそうした母校を誇りに思うと共に、更に多くの人材を育て発展することを願わざにはおられません。

そして又、母校

同窓会並びに

東京格致会が

更に拡大発展

することを祈

念し、そのため

に会員各位の

一層のご支援

をお願いする

次第です。

あり、戦後は東京世田谷区で駒沢家畜病院を開設され、現在も開業されております。かつては、佐藤総理大臣やライシャワー米大使の専属獣医として、又昨年は米国ベイカー大使夫妻が来院されるなどで著名な方です。

私はこの写真で十三名の学生服の方々に注目しました。これらの方は旧制格致

中学を卒業され、広島県の北端から向学心に燃えてはるばる東京の大学等で勉学

されていました方々と思います。私はこのことから母校発行の「格致同窓会報」六号、

七号にも掲載の「校祖小田源吉先生の生

涯と教育」でも詳記されている「格物致

知」が當時も旺盛であり、この精神は今

後とも格致に学ぶ人たちは極めて大切

であつて、理解し身につけることの必要

を感じました。最近、公私を問わず学校

創設者の創設精神を教科の中に入れて

いる学校が多いとききます。

私はそうした母校を誇りに思うと共に

、更に多くの人材を育て発展すること

を願わざにはおられません。



庄原格致高等学校校長  
壹岐芳雅

## 「あいさつ

庄原格致高等学校校長

早いもので、あつと言う間に三ヶ月半が経ち、既に夏休みを迎えています。野球部も甲子園予選一・二回戦を順調に勝ち上がり、明日は強豪広島商業と対戦します。東京格致会の皆様には日頃から何かと本校のためにご支援・ご協力をいただいております。この三月末にも、株富士通総研主席研究員の田邊様のお取り計らいで、金岡前校長をはじめ数名の職員が東京大学等で研修させていただきました。また、五月六日には、東京格致会顧問の室伏様がご来校ください、会の活動やゴルフ・卓球などお互いの趣味について親しく話をさせていただきました。故郷を離れられても未だ変わらぬ皆様の母校への熱い思いをお聞かせいただき、責任の重さを痛感するとともに大変心強く感じた次第です。

さて、今春の入試から学区が変わり、全県十四学区から六学区となりました。本校も從来の庄原市・比婆郡に三次市・双三郡が加わり、大きな学区となりましたが、志願者の大半は從来どおり庄原市・比婆郡で占められ、結果的には十五名の定員割れとなりました。過疎化・少子化は本校にとって深刻な問題で、庄原市・比婆郡の中三生の人数は、今年度は四六〇名余りですが、これから少しずつ減少して平成二〇年度には三〇〇名前後となることが予想されています。文武両道を掲げる本校にとって、現在の一



同窓会会長  
伊達正治

## 建学精神の継承を

広島県立庄原格致高等学校公式ホームページ  
<http://www.shobarakakuchi.hiroshima.ed.jp>

ゆつたりとした季節の移ろいは爽やかな秋を迎えようとしていますが、東京格致会の皆さまには、「健勝にてご活躍のこどと拝察申し上げます。

郷土庄原は今、「ご承知のように平成十六年十一月一日の一市五町による合併をめざして協議が進行しています。私たちをとりまく現代の情勢は誠に目まぐるしく変化し、世界のどこかで何かが起きると一つの地球村のようにすぐ私たちの暮らしに影響します。新型肺炎の流行とか北朝鮮・イラクなどの国際的問題、そして国内の貧困な行財政や政治家の傲慢でお粗末な言動、ルールも限度も知らないような人間があふえて毎日のように不快なニュースが報道されて心の安らぐいとま

**母校の変遷**

1897年(明30)11月1日	<u>私立格致学院 設立</u>	小田源吉氏によって創設され 1997年(平成9年)創立100周年を迎えた
1927年(昭2)3月15日	<u>広島県格致中学校 に改称</u>	(庄原町、山内東村、山内北村三カ村学校組合立中学校設置認可)
1938年(昭13)4月1日	<u>広島県立格致中学校 に改称</u>	(県に移管)
1948年(昭23)5月3日	<u>広島県格致高等学校 設置</u>	(学制改革)
1949年(昭24)4月30日	<u>広島県比婆西高等学校 設置</u>	(学校再編成) ※広島県格致高等学校・広島県庄原高等学校・広島県西城高等学校を統合
1954年(昭29)5月1日	<u>広島県庄原高等学校 と名称変更</u>	(広島県教育委員会告示による)
1961年(昭36)4月1日	<u>広島県庄原格致高等学校 として分離独立</u>	(広島県教育委員会告示及び広島県立高等学校学則の一部を改正する規則による) →全日制過程普通科・定時制課程普通科(口和・高野山分校を含む) 【職業関係学科・比和分校・本田分校は広島県庄原実業高等学校として分離】
1968年(昭43)10月1日	<u>広島県立庄原格致高等学校 と名称変更</u>	(広島県条例の施行) *口和分校の学科の変遷 S27年卒~30年卒 農業科・生活科 S31年卒~38年卒 普通科・生活科 S39年卒~41年卒 普通科・家政科 S42~55年卒 普通科 *高野山分校は、S31年卒から現在まで普通科のみ

\*小田源吉先生が「格物致知」の精神を教育の理念として「格致学院」を創設される校名【格致】の由来  
中国の古い書物である「大学」の中に出でてくる「格物致知」という言葉に由来する、この「格物致知」の意味は、朱子(12世紀)という学者の解説によると“物事の道理を究めて(格物)、自分の知識を完成する(致知)”こととされている

【出典・広島県立庄原格致高等学校 創立100周年記念同窓会会員名簿】

さえなくいたたまれないような思いのするこの頃です。  
少子化による人口減少型社会が到来しつつある中で、教育界も例外なく大きな転換期にあります。嘗ては教育県といわれた広島県ですが、現状は高校進学率が低下し、中途退学者数も年間三〇〇人近くあるといわれ、また学力の低下が声高に懸念されています。そのうえ学校運営について国からは正指導を受け、最近では民間出身の校長が自殺したり、教職員組合事務所へ拳銃が発砲されたり、あまりにも深刻な問題が山積しています。かかる実態を招來した原因は果たしてどこにあるのでしょうか。  
世の中は二十世紀が生んだ文明技術の機器の渦で生活のあらゆる分野が急変し

近くあるといわれ、また学力の低下が声高に懸念されています。そのうえ学校運営について国からは正指導を受け、最近では民間出身の校長が自殺したり、教職員組合事務所へ拳銃が発砲されたり、あまりにも深刻な問題が山積しています。かかる実態を招來した原因は果たしてどこにあるのでしょうか。  
世の中は二十世紀が生んだ文明技術の機器の渦で生活のあらゆる分野が急変し

導入により教育の姿が一変しました。いかに優れた機器でも「心」はありません。その結果、生徒も教師も個人に埋没して、教育の原点である心と心、魂と魂のふれあいによる感動体験が激減する傾向にあります。未来を開拓していく生徒にとって、魅力ある学校とは、優れた機器による教育もさることながら、生徒と教師の心との触発による「喧嘩同時」の教育活動の実践だと言えます。ここに来て、広島県教委は東京都の「主幹制度」を参考にして新たな学校運営体制を強化する県対策を検討するということがでますが、私たちは関心をもつてそのゆくえを注視したいと思います。

私たち格致同窓生は「笑う」ときも「涙するときも母校格致に限りない「誇りと夢」「郷愁と感謝」の念をもつて、それらを心の糧にして坂道の多い人生を歩んでいます。「ふるさとは遠きにありて思うもの」とりわけ郷里を遠く離れておられる東京格致会員の皆さまには母校に寄せるこれらの思いがとても深いことを、皆さんとお会いするたびに痛感しています。母校格致が時潮にながされることなく伝統ある「格物致知」の建学精神を継承して「汗と涙」の人間性豊かで旺盛な知的好奇心を引き出し満足させる格致教育が益々発展し実践されることを期待しています。と同時にそれを支援できる同窓会となれるための組織づくりに会員の皆さまと共に更なる努力をして参りたいと存じております。会員の皆さまのご多幸を祈念し擱筆します。



アメリカでの体験

○ 会員だより

昭和三十四年卒  
陸田 康行

ワシントンでの仕事を終えてシカゴ経由でロサンゼルスへ移動する時に素晴らしい体験をしましたので、一寸ご紹介致します。まずワシントンからシカゴへの

## 長井運送株式会社

代表取締役

長井一美  
(昭和15年卒)

〒105-0023 東京都港区芝浦1-3-3

電話 (03) 3451-2293

## 駒沢動物病院

田部幸雄  
(昭和10年卒)

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢3-16-2

電話 (03) 3421-7902

機内でスチュワーデス(SW)が搭乗者一人一人に貴方は何処から来たの。何処へ行くの。等と声を掛けながら笑顔で機内サービスをする事に感銘していた時、メキシコからのお客様の帽子(サンブレロ)を取り上げて、皆さん私を見て下さい。この帽子をかぶると似合うでしょう。と腰に手を当てポーズをし、お客様から喝采の拍手を受ける等、機内で和気あいあいとした雰囲気を味わっている内にシカゴへ到着しました。

ところがシカゴの空港の広さに唖然としながら、ロス行きのゲート表示を探していた時、MR.JAPANどうしたの。との声に振り向くと先ほどの機内で会話をしたSWだったのです。貴方の会社の便でロス行きのゲートを探しているんだ。と言うと私が案内しましよう。と気さくに言うのでサンキューと言つて荷物を提げようとしたら、ノーこれに積みなさい。とつてカートへ積んでくれた。ではそれを僕が引きましよう。と言つたらそれもノーとと言うので、僕は手ぶらでゲート案内に応じた。ゲートへ着いてどうしてここまで案内してくれたのか。と尋ねたら、私はここでバケーションだ。と言うのでそれではお茶でも飲みましょう。とお誘いしたところ、彼女はラージカップのコーヒーをゴクゴク見事に飲むのに僕はスマルカップでやつとお付き合いした次第です。

其の後、多少出発時間があつたのでロビーやうろたえていたら、背中をポンと叩かれ、ドキッとして振り向くと白髪のお婆さんが、貴方は日本人かい。と言つて先ほどコーヒー代を支払った時の財布をズボンのポケットに突っ込んでいるところを指して、内へ隠しておかないと危



田中玲子  
(旧姓 長岡)  
昭和四十一年卒

ないよ。と親切に忠告してくれた。とやかくしている内に出発時間となり、大陸を見る為、早めに機内に搭乗し窓側の席を確保した。水平飛行に入ると何時もようSWが機内のドリンクサービスに来たので、言葉も聞き取らずにホワイトワインを頂き、飲み始めても立つたままのSWに疑問を感じていたら、隣の白人が金を渡したら立ち去つたことに気付く、如何したのですか。お金を払いましたと尋ねたら、お金をくれと言つていたよ。貴方はジャパニーズかい。と言うので、そうです。と答えたら、貴方が日本人だつたらここはアメリカだ僕に任せろ。と言うのでなぜだ。と問い合わせたら僕が数年前に日本を訪れた時、日本人が僕にとても親切にしてくれたのでその恩返しだ。と言つて飲めばワンモア、ワントモアでロスまでの間に五本もご馳走してくれました。この紳士の心遣いで上かかるのにあつという間に心温まるアメリカ人と出会つて楽しい旅を体験しました。

結婚を機に東京に来てから早三十年。故郷に住んでいたより長くなりました。子供達も社会人となり、そろそろ地域に貢献しなくてはと思つてている時に、子育て支援事業に巡り合いました。今、日本

は少子化傾向に有り、国や地方自治体がその対策にやつと重い腰を上げ始めました。私の住んでる練馬区でも、その政策の一つとして、子育て支援事業に数年前から取り組んでいます。短期間ではあります、が、子育て支援者を養成する事業です。

今は核家族が主流で、働く女性にとつて子育ては大変な事です。私の子供達が結婚して子育てをする時に地域の皆様に助けていただく事も多いのではないかと思ひ、私も地域の方々の子育てをお手伝い出来ればと、その養成講習を受け、援助者の資格をいただきました。その援助の内容は様々ですが、主に〇才児から十才児までのお子さんを親御さんの変わりに保育園等に迎えに行つて、親御さんが帰つて来られるまで家でお預かりしたり、ご家族に伺つて子供さんと一緒に留守番をしたりします。この事業に参加して思う事は、働きながら子育てをする事が出来る事は、働きながら子育てをする事の大変さです。私達が子育てをした時代は専業主婦が主流でしたが、今は共働きが主流ですから、どんな形でも援助は必要となります。私達はボランティアといつても今のところ有償です。この代金も自治体が負担する方向に持つて行きたいと思つています。お子さんを預かるという事は責任重大です。しかし大変さよりも喜びの方がずっと勝つています。保育園に迎えに行つた帰り道等で手をつなぎ一緒に歌を歌つたり、花をながめたりしていると、自分も童心に返ります。時々夕飯のお世話をしますが「美味しいね!」とつて食べて呉れた時の嬉しさ、私を信頼し切つて抱きついて来た時の肌の温もり等、こんな素敵なおボランティアが他に有るでしょうか。この子育て支援事業

## 酒井会計事務所

税理士 酒井久幸  
(昭和25年卒)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町  
2-13-28  
電話 (03) 3255-8995

## 洋光繊維株式会社

代表取締役  
木村貞寧  
(昭和25年卒)

〒130-0004 東京都墨田区本所4-9-10  
電話 (03) 3623-3176

に巡り合うことが出来て、本当に良かったと思っています。

## 調剤薬局の苦労話



昭和四十八年卒  
石井美佐子  
(旧姓 滝口)

卒後三十年、薬剤師として、調剤薬局五店の経営者になりました。二十五年前医薬分業の世界に入った頃、処方箋だけ扱う薬局はほとんど無く、患者さんや近所の人達に「こちらは何をしている店ですか?」とか「薬局にしては店頭に薬が置いていないですね」果ては税務署にまで「薬局で交際費を使うんですか?」等、言われた時代でした。

さて、医薬分業では医師、患者、薬剤師の三者の信頼関係を最も大事にしなければなりません。医師との問題では処方箋の字が見にくい、量の間違い(コンピューターの入力ミスも含め)、二つ以上上の医療機関での重複薬あるいは相互作用など問い合わせする事が多々あります。医師と薬の情報交換等やり取りする時、特に気を使います。大学卒業二十五年(もうすぐ五十歳)の今でも日々の勉強は欠かせません。

患者さんは薬の飲み忘れは日常茶飯事、ましてや昨今の新聞、雑誌、マスコミ等からの中途半端な知識を持つて「この薬は副作用があるから飲まない」とか「私はこの薬が合っているから」「Aさんが効いたからBという薬のほうが好いのに」「この薬は飲まなければドクターに悪いから貰つておきます。家にまだ

いっぱいあります」等々。自分たちが医師や薬剤師のようになってしまい、挙句の果てに、「病気が治らない」とかと困った人もいます。

大変な事も多いですが、「お陰様でよくなりました」「この間のアドバイスが大参考になりました」とか、「お薬上手に飲めた。元気になったよ」と子供たちから言われたり、感謝の言葉をかけられると思わず笑みがこぼれます。

最後にアドバイスさせて頂きます。病院で処方箋をもらつたら、その場で内容を見る。薬が変わつている場合は受付等で再確認をしてから薬局に来てください。

投薬されたら必ず薬の名前をメモしておき。出来たらノートを作り(お薬手帳をくれるところもある)、些細な事でも何か変わつた事があつたら書いておき、薬剤師に報告しましょう。他に服用している薬があれば、必ず言いましょう。副作用などのチェックになります。そして何といつても信頼の置ける医師と薬剤師を見つけておいて下さい。そして会話を下さい。必ず役に立ちます。

これからもたくさんの知識を吸収して医師からも患者からも役に立つと思われる薬局を目指したいと思います。

## 郷土だより

### 庄原市との市町村合併について

庄原市と比婆郡四町(西城町、口和町、高野町、比和町)甲奴郡総領町の一市五

町は、平成十四年四月から合併協議会(法律に基づく協議会)を設置し、平成十六年十一月三十一日を合併目標として、本格的な協議に入った。(合併特例法の適用を受けるには平成十七年三月三十一日までとなつてある。)

- ◎市町村合併の必要性とメリット
- 市町村の枠を越えて、大きく経済活動などが広がる。
- 環境問題や観光振興、道路、土地利用など広い視野でのまちづくりができる。

### 二. 地方分権の進展

- 国、県、市町村は財政基盤を強化し、効率化を図る必要がある。
- 平成十二年四月から「地方分権一括法」が施行され、「行政サービスは住民に身近な市町村で」の考え方で権限などが一部委譲される。

### 三. 新たな行政課題と対応

- 少子、高齢化、情報化、国際化、環境問題など専門の知識や技能を有する人材や組織の設置が必要である。
- 小規模市町村単位では対応が困難となつてはいるが、サービスの高度化、多様化が計れ、専門職員の設置、国際化など新たな行政ニーズに対応できる。

### 四.

- 厳しい財政状況の打破
- 役所内の管理部門、事業部門の統合や、特別職、議員、委員、職員等の効率化を図る必要がある。
- 役所によるデメリットと解決案
- 役所が遠くなり不便になる。

### 《健康と美容のコンサルタント》

### 合資会社 めぐみ薬局

代表社員 恵木 弘  
(昭和30年卒)

本店 川崎市高津区新作4-11-19  
電話 044(888)3000  
支店 川崎市宮前区東有馬5-23-6  
電話 044(866)2426

### 西葛西・井上眼科病院

院長 宮永嘉隆  
(昭和28年卒)

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-4-9  
TEL 03-5605-2100 (代)

- 旧役所の庁舎を支所として活用する。
- 中心部だけが良くなり、周辺部は取り残される。
- すべての市町の合併後十年間の計画をつくる。
- 住民の意見が届きにくくなる。
- 地域毎の公聴会、行政説明会などを開催し、自治振興区を作つて住民の意見が反映されるようにする。
- 地域の個性が失われる。
- これまでの地域の歴史、文化、伝統などは貴重な財産として守つていく。
- 配慮してほしい事
- ◎西城町住民の一人として合併後も特に
- 一、公立西城病院の存続
- 二、西城交通バス網の継続
- 三、保健、福祉、介護等サービスの持続
- 合併にあたり、住民に充分な情報が提供され、住民も納得の上でこの平成大合併を乗り切る必要がある。
- 記事取材昭和三十三年卒 藤井豊昭
- 本記事は、西城町在住の同窓生からの聞きとり取材です。



## 東京格致会 ゴルフ同好会コンペについて

昭和三十五年卒 龜井勲三

一、天候

「台風四号接近、今日の午前中、関東地方に上陸」、去る五月三十一日(土)、第一の宮CCCで行われた格致会ゴルフコンペ、早朝の天気予報である。

ゴルフ同好会コンペについて  
東京格致会  
昭和三十五年卒 龜井勲三  
一、天候  
「台風四号接近、今日の午前中、関東地方に上陸」、去る五月三十一日(土)、第一の宮CCCで行われた格致会ゴルフコンペ、早朝の天気予報である。

ゴルフ同好会コンペについて

## 新会員大歓迎

第二十九回ゴルフ同好会コンペ  
平成十五年十一月八日(土)

一の宮カントリ俱楽部

幹事 龜井勲三

TEL ○九〇一—一〇五—七二七二

参加申し込みは幹事まで。

二、コースへ

暗いうちから、「ごそごそ」と嵐の中をまっしぐら「料金払ってズブ濡れプレー、弁解しながら帰つて来るよ!あんたは馬鹿だ」と無言で語る女房の目、行くな行くなと車のセルがエンジン始動を妨げる。「だがネー、しばらく欠席したこのコンペ、行かねばならぬ、行かねばならぬ、止めて下さるな女房殿、行かねば次回は破門になるのだ!!」

### 三、ティグランド

嵐の中を敢然とティグランドに立てば「ピュー」「ピュー」と吹きつけた暴風雨の音が、「パアー」「パアー」と阿呆呼ばわりに聞こえて来る。雨の降り込む細い目で、はるかかなたを眺むれば、「早く打てよ」とグリーンの上で、ちぎれる程にはためく旗、急いては事を仕損じる「わかつとる。」「わかつとる。」「バッキングをゆつくり上げて、インパクトに移る瞬間、突風に押されて前後移動、左に引っかけ、木の下さん。揚句の果に木の根つ子、泣きたい気持で近づいて、今度こそはと祈りを込めて、力強くフルスイング、モグラの館が崩れていたか、「ピシャリ」と顔に黒土が、「それみろ」とニヒルに笑う女房の目、「くやしい」。しかし、ここが我慢のしどころと、雨の零と涙と汗を平静装い、拭い去り、トリとカードに記入。

四、プレー続行

気持をとり直し次のホールへ、暴風雨は容赦なくコースを叩きつけ、一でスライス、二でフック、三でトップで四にダブリ、今度こそはと打つたら、シャンク強烈右バンカー、一発脱出試みて頭叩いてホールラン、あとは野となれ山となれ、三パットや四パット、開き直つて気

持落ち着く。

### 五、表彰式

上つてみれば、ハーフ四六。新ペリア

方式のハーフ計算で優勝とやら、1R計

算ならまだしも、暴風雨の中、これでも

か、これでもかと「ヤスリで擦る」様な

「や・ね・こ・い」プレーを強いられた場句、

次回幹事とは……。台風の中でのゴルフ

経験者は多くないだろう。グリーンは水

びたし、濡れて、寒くて、スコアーが悪い。

やめた方が良いと身を持って経験を

した一日であつた。次回はスコアーアップのため台風ではなく地震の来る日にや

ろうか、カップの縁に止まつたボールは、ことごとくカップインするであろう。不

謹慎な!

### 六、次回逢いましょう

緑の絨毯を敷きつめ、紅葉を見ながら、真青な空に白球がグングン伸び、ショート1オオン、ミドル2オオン、ロング3オオン。いずれも1パットバーディ、こんな夢を追いながら、次回コンペは、十  
一月八日(土)、一の宮CCCで開催します。幹事は三十五年卒、八谷、亀井が担当します。奮って御参加下さい。格致会ゴルファーに幸有れ。

「雨にも負けず、風にも負けず!! 格致会ゴルフコンペ始末記」

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

## ガーデン&エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



株式会社 八王子装建

代表取締役 西谷光徳(昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応

八王子市子安町1-32-19 TEL 0426(45)4295 FAX 0426(44)8549

## テレビ飯能

ブロード・バンドでまちづくり。  
各種案内ビデオ受け託ります。

代表取締役 和泉由起夫

(昭和41年卒)

飯能ケーブルテレビ株式会社

〒357-0015 埼玉県飯能市小久保19-1

TEL 0429-74-3611 FAX 0429-74-3612

E-mail info@tv-hanno.co.jp



第3回囲碁大会（H14.12.15）の記念写真（簡保「ゆうばうと」にて）  
後列左から、合田良三（33年卒）、友広寿（27年卒）、桑原貞之（35年卒）、寺岡博司（27年卒）、小山眞次郎（27年卒）、加藤哲治（32年卒）、前列左から、近藤正昭（28年卒）、瀬宜静暉（28年卒、第1回最優秀賞）、藤高明（27年卒、第2回最優秀賞）、沼腰達也（22年卒）、浜田美穂子（27年卒）の各氏です。尚、当日は忘年囲碁大会で出席者は12名（渡部正規氏・40年卒・早退）でした。



紅一点の女性棋士  
浜田美穂子氏  
(二十七年卒)

同好会発足以来、八月で例会は二六回目になります。これも会員の皆様方のご協力のお陰です。今後、当会が益々発展することを期待しながらのカメラリポートです。

## 【カメラリポート】 囲碁同好会（事務局）から 昭和二十八年卒 近藤正昭

現在、当会の会員数は十七名で活動しています。新規会員も募っており、近日中に二名の方が入会される予定ですので十九名になります。  
通常の対局の他に、トーナメント戦・リーグ戦も実施しています。  
囲碁を志し、棋力充実を目指す為には、まず足腰を鍛える必要があります。JRが全国的に企画・実施している「駅からハイキング」への参加をお勧めします。  
そして、心身ともに健康で囲碁を楽しみたいものです。

毎月一回は例会を開催しておりますのでご一報頂ければご案内致します。詳細は、会報の当同好会広告欄をご覧下さい。

現在、当会の会員数は十七名で活動しています。新規会員も募っており、近日中に二名の方が入会される予定ですので十九名になります。

通常の対局の他に、トーナメント戦・リーグ戦も実施しています。

囲碁を志し、棋力充実を目指す為には、まず足腰を鍛える必要があります。JRが全国的に企画・実施している「駅からハイキング」への参加をお勧めします。

そして、心身ともに健康で囲碁を楽しみたいものです。



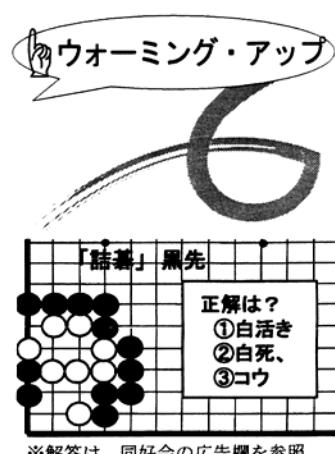
写真左上は、第三回大会（出席者十三名）の表彰式  
写真右中央が最優秀賞の友広寿氏

第3回大会の栄えある受賞者  
(H15.6.8)  
最優秀賞 友広寿（27年卒）  
敢闘賞 近藤正昭（28年卒）  
瀬尾明雄（40年卒）  
努力賞 桑原貞之（35年卒）  
守長俊之（27年卒）  
特別賞 信清治（31年卒）

● 昭和三十三年卒 森沢 進  
● 楽しいですよ！  
東京格致会  
親睦バス旅行同好会便り

予てから提案がありました親睦バス旅行同好会が発足。三月九日（日）に参加者二五名（女性五名）の参加を得て、伊豆修善寺温泉から十国峠を越え日帰り旅行を実施しました。当日は晴天のもと東京丸ビル横を出発し、東名高速道路より美しい富士山眺め、修善寺温泉では由緒ある旅館「金龍館」で休憩し、太陽の下で露天風呂につかりました。後は昼食宴会を楽しみ、帰途伊豆箱根スカイラインでは小雪の歓迎をうけ、無事帰京しました。

バスの中では、平田会長の発案で俳句大会が行われ、各々が車窓眺め、頭をかかえ、格致時代の恩師「桑原先生、柄松先生達の名前を出しながら『昔を思い出名句を詠んでいました。（厳正な審査の結果優秀作品は左記のとおり）又、カラオケ等によりお互いに親睦を計り、お神酒も手伝い楽しい一日と成りました。



※解答は、同好会の広告欄を参照

### 株式会社ビューテジオ

0120-311-298

〒107-0061 東京都港区北青山3-8-8 S Jビル  
<http://www.beautedio.com>

トータルビューティースタジオ

**beau  
tedio**

取締役 福場美知留  
(昭和45年卒)

### 自動車販売会社

## 株式会社ヨシダ

代表取締役 吉田玲睨

(昭和47年卒)

〒123-0844 東京都足立区興野1-15-10-203

TEL・FAX (03) 3840-0977

携帯 090-4713-0977

E-mail:y.reiji@helen.ocn.ne.jp

